

ふぢもと

宛先: 日本臨床心理学会運営委員会暫定ML 20unnei@yahoogroups.jp

<20unnei@yahoogroups.jp>

Re: [20unnei][02227] 反論なさらぬ理由を説明ください: 155回精從懇定例会報告—鈴木

---

運営委員の皆さま

長文になり失礼します。

MLのことです。

正直なところ、総て読んでいません。その中に、精從懇に関する物も含まれていました。

なぜ読んでないかということですが、MLを開くのが、気が重いを乗り越えて、身体的にも気持ちの上でも拒否反応が起きています。見なくてはと思いつながら、身体がついていかない状況です。他のメールを見る頻度も少なくなり、あえていうなら「メール拒否症」という状態で、攻撃的な言葉や内容に嫌気がさしているというのが正直な気持ちです。昨日のメールでも實川さんが「自分の「雑用」が優先と、明言していられます。」と記されています。このような言葉尻をとらえ、攻撃されると本当に嫌になります。

實川さん、戸田さんの相手の言葉尻をとらえての攻撃的なメールで何人もが嫌な思いをしています。何人かはMLを開くと体調が悪くなると話していました。

運営委員一人ひとりそれぞれの生活のスタイルがあります。實川さんや戸田さんの様に、いつでもメールができる環境にある人もいれば、そうでない人もいます。メールは即答するのが常識だという考えもあります。しかし、そうでない人もいるわけです。自分の考えが全て正しいわけではないと思います。

こうした攻撃からは何も生まれぬと思います。当時者手記の執筆者も攻撃的なメールで体調を崩され、退会しました。他にも体調を崩し結果的には退会された方もいます。

MLへの投稿は實川さんのいわれる「守旧派連中」以外の方からの投稿がないのがなぜかと考えることが大切だと思つています。「なんで不登校なのか?」「なぜ出社拒否になるか?」と相手の立場に立って考えることが心理職としての基本だと思つています。そうしたことをせずに、投稿しないのはけしからぬといふのはいかになものでしょうか?

實川さん、戸田さんが臨心をどうしたいのも正直わからなくなつています。

ついで、「守旧派連中」の排除が目的でしかないと思つてしまいます。

實川さん、戸田さんとの信頼関係がない中で、大連大会へのビデオ参加も躊躇しています。ビデオ参加したことで、また臨心の趣旨とは違ふことを発言したのは許せぬと攻撃されるかと思つると、それに向けての、エネルギーが枯渇しているもの正直な気持ちです。

私利私欲のために運営委員を続けてきたつもりはありません。大学人の場合は学術刊行物への投稿が業績となりますが、現場ではそうした「利益」はなく、時としては職場の方向とは反する要望書などを取りまとめるわけですから、「負の業績」にしかならぬえなかつたこともあります。

長文になりすいませんが、今の正直な気持ちをつづらせてもらいました。これを書きながら、また言葉尻をとらえられるかと思つると、とても重い気持ちです。酒木さんが「膿」を出さなくてはと書かれていたので、何とか戸田さんの出発前にと、意を決して思いの丈を記しました。これからもこうした状況なので、MLに即答することが難しいかと思つています。

精従懇のことです。

事務局長からのメールの件ですが、精従懇の事務局の柴田さんは例会の前は出張でメールを読んでいなかったとのこと。出張から戻り長文の2回にもわたるメールを読んで困惑したと話されていました。

当日實川さんが異様な雰囲気です突然現れたことで、代表幹事から例会進行についての相談を受けました。

会議での発言ですが、私の資格に関する部分は、全協の赤須さんからの「補足は藤本さんをお願いします。」を受けてのものです。

マイナンバー制については、マイナンバーが振られることで、生活保護受給者の控除申請が厳密に適用されることで様々な弊害が生じる旨を発言しました。現状のケースバイケースでの運用を理解している前提で話したつもりです。その折隣席の精協の五味さんが、脱税ができなくなるのと同じだよとささやかれたと記憶しています。

實川さんの報告ではフォーラムの開催は、それ以前に決まっていたかのように書かれていますが、フォーラムの開催は、3月の例会で急遽決まったことです。

3月の例会時点では、今回報告のあった法改正が今国会で提出されるかは不明でした。また、提出されても会期末になるのではとの推測もあり、その時点では精従懇として、法改正の進捗に関わらず、当事者の視点での改正を考えることが大切との共通認識がありました。次回の例会でフォーラムの具体的なことを検討しようということで、例会を終了したのです。

例会終了後に、例会で確認されたフォーラム実行委員が次回の実行委員会の予定を調整しているときに、突然に實川さんがその輪に向かい、「あなたは、虚偽報告をしていた」という内容のことを叫ばれ、その場が緊張したこともありました。

例会後、柴田さんから、實川さんが得体のしれない団体には学会として分担金は支払えないと言われたけど、話されていました。

他団体の何人かからは、あのMLへの投稿はちょっと変じゃないのとも言われました。

以上です

藤本